

## 平成13年度岡山市総合政策審議会都市・交通部会（第1回）の主な意見

- 1 日 時 平成13年4月26日（木）午後1時30分～3時50分  
2 場 所 ほっとプラザ大供 第3研修室  
3 出席者 委員13名中8名出席  
（阿部委員、内田委員、加原委員、倉森委員、高田委員欠席）  
岡山市：山内都市整備局長、広瀬まちづくり担当局長、高橋局次長、  
池上都市開発部長、青木公園緑地部長、小寺土木部長、  
青山西部新拠点まちづくり推進本部長 ほか  
事務局：高橋参事 ほか

4 傍聴者 6名

5 会議概要

（1）傍聴の許可

（2）事務連絡、議題の説明及び質疑応答

6 主な意見

1 保存樹の指定について

○指定は、所有者の申請に基づくものであるが、このような保存樹は、都市の歴史を表すランドマークでもあり、将来のまちづくりの観点から、行政による援助の拡充を今後の課題として考えていく必要があるのではないかと。

○今回申請のあった樹木については、保存樹として指定してよい。（全員一致）

2 岡山市開発行為の許可基準に関する条例案の骨子について

○今回の制度改正は、制限というより、むしろ政策誘導に意味があり、条例化にあたっては、その内容を市民に正確に伝える必要があることから、用語の定義等について誤解されないような表現にしてほしい。

○建築可能な建築物の解釈について、建築の現場で困ることのないよう、要件等を具体的に示したわかりやすい表現にしてほしい。

3 路面電車にかかる交通社会実験について

○延伸によって最も混雑すると思われる箇所での実験がなされておらず、実験としては評価できない。

○何度でもやればよいというのではなく、次に実験をする際は、岡大病院正門前までを規制して、必要なデータが得られるようにやってほしい。

○アンケート調査の回収率の低いことや実験期間が十分でないことが気になる。これで結論を導くことができるだろうか。

○今回の実験で新たな課題が見つかったという面もあり、再び実験をする場合には、これを教訓にして、もう少し詰めた設定をする必要がある。

○市役所筋を6車線から4車線にするということが、決定的に交通の混乱を招くということとは今回のデータからも考えにくい。

4 岡山市オムニバスタウン計画について

（主な意見なし）

5 岡山操車場跡地整備について

○健康上、人工芝よりは天然芝のほうがいいのではないかと。

○市民の憩いの場と駐車（輪）場の確保をお願いしたい。

○身障者の駐車場などについて、来場者が福祉面の取り組みを視覚的に実感できるようなインパクトのあるものにしてほしい。